

岐阜県立飛騨高山高等学校

学 校 長 神出 建太郎

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町2000-30 電話 0577-32-5320
(山田キャンパス) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和5年度 飛騨高山高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年5月22日 (月) 13:30~15:30
- 3 開催場所 飛騨高山高等学校 山田キャンパス 会議室
- 4 参加者

会 長	中田 彰	本校同窓会長
副会長	石垣 義則	本校育友会長 (全日制)
委 員	荒畑 勝之	高山信用金庫 総務課長
	岩佐 喜美子	高山赤十字病院 (欠席)
	永瀬 正幸	J A飛騨ミート
	玉田 明正	岐阜県指導農業士
	島谷 和美	自営業 (食堂経営)
	西野 直美	ひだ障がい者総合支援センターぷりずむ (欠席)
	下屋 綾乃	本校育友会長 (定時制)
	塚本 利幸	本校部活動後援会長 (通信制)
学校側	神出 建太郎	校長
	野中 賀雄	副校長 (全日制山田キャンパス)
	小田 雅人	副校長 (定時制・通信制)
	藤守 学	教頭 (全日制岡本キャンパス)
	棚橋 英一	教頭 (全日制岡本キャンパス)
	島田 正幸	教頭 (全日制山田キャンパス)
	下嶋 和長	教頭 (通信制)
	岩坂 宗	教諭 (全日制岡本キャンパス・教務主任)
	大溝 悠太	教諭 (定時制・教務主任)
	石地 志奈子	教諭 (通信制・教務主任)
	水田 奈央生	教諭 (全日制岡本キャンパス・生徒指導主事)

5 会議の概要

(1) 令和5年度 教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1: 「社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指す」とあるので、これからも飛騨地域を守る人材を育てる指導方針を続けてほしい。

意見2: 学校運営協議会委員になったことで、こうして学校の目標やスクール・ポリシーなど、生徒たちの環境に適した目標が立てられている事がよく分かった。

①働き方改革に関すること

意見1：教職員の様子を生徒は見ており、現状を見て生徒は教員になりたいと思えるのか。銀行では残業なしなどの対応をし、人材確保につながるような働きかけをしている。学校は保護者や生徒の対応もあり、なかなか難しい点もあるが、何か対策に取り組んでほしい。本校の卒業生が、校長や教頭になっていることもアピールできる素晴らしいことである。

②スクール・ポリシーに関すること

意見1：地域での活躍や、コミュニケーションをとる場面など、地域・社会に貢献できる生徒を意識して育てている。まさしくスクール・ポリシーにつながっている。

意見2：新たな時代に対応できる創造性を育む方針は素晴らしい。

意見3：「郷土を愛し、地域の発展のために、地域や社会の構成員として貢献できる生徒」とあり、これからはさらに地域愛を持ち、地域創生や飛騨地域のために活躍できる生徒を育ててほしい。

意見4：しっかりと「こんな生徒を育てたい」というスクール・ポリシーを立て生徒を指導していることが分かった。

③学習指導・生徒指導・進路指導に関すること

意見1：授業や実験実習に取り組む生徒の姿を見て、生き活きと活動していることが分かった。

意見2：生徒は爽やかで挨拶ができ好印象である。挨拶をすることは非常に大切である。会社においても朝の挨拶は重要であり、一日の始まりでもある。挨拶によってコミュニケーションも生まれ、職場の活性化にもつながる。学校でも継続指導をお願いしたい。

意見3：施設・設備も充実しており、飛騨の後継者を育てる大切な学校である。農業の経験や体験がいろいろな場面で生かされる事も多い。我々と一緒に農業をやっている生徒をこれからも育ててほしい。

意見4：授業見学をして、自分たちで栽培したものを加工して販売するなど、素晴らしい学習をしている。自信や誇りをもって頑張れる学校であり、本当に社会へ出るチャンスをサポートしていることが分かった。

意見5：社会的に人材不足が深刻であるので、飛騨の魅力を伝え地元飛騨に戻ってくる教育を進めてほしい。

④その他

意見1：立派な教育をしており、生徒も一生懸命頑張っている。その姿をもっと外部へアピールしてほしい。

意見2：ふるさと企業の会では、OBとして協力していく。卒業生が飛騨の地元に残って頑張れるよう協力したい。

6 会議のまとめ

令和5年度第1回学校運営協議会において、本校の教育指導の重点及び学校経営計画について、全ての委員より承認を得られた。